

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 非心臓手術患者のカテコラミン使用と予後に与える影響：日本 ICU 患者データベースを用いた多施設観察研究
	研究の対象 2015年～2020年までの期間に日本 ICU 患者データベースに登録されている病院に入院された患者様
	研究の目的 敗血症を代表とするショックでは、近年ノルアドレナリンの方がドパミンよりも不整脈が少なく良い予後と関連することが分かっています。しかし手術後の低血圧に関しては研究が進んでおらず、ノルアドレナリンの方が良いのかはわかっていません。本研究では日本 ICU 患者データベースを利用して、術後患者についてノルアドレナリンとドパミンを比較し、予後に影響を与えるかを調べることを目的とします。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2026 年 3 月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 年齢、性別、BMI、退院時転帰、ICU 在室日数、在院日数、病名テキスト、主病名コード、副病名コード、ICU 在室中の治療、カテコラミン投与、慢性疾患の有無、各種重症度スコア等
利用する者	機関名および責任者名

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>の範囲</p>	<p>浜松医科大学 青木善孝</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 集中治療部 青木善孝</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>他の情報と照合しない限り、特定の個人を識別できない状態に加工されたデータを利用した研究ですので、提供の停止はできません。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。ただし個人の結果については、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できない状態に加工されたデータのため個人を特定できず、提供や閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>個人の情報は特定できないため、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 集中治療部 担当者： 青木善孝 TEL： 053-435-2111 E-mail： ysaoki27@gmail.com</p>